

第40期 第2四半期 株主通信

(2014年4月1日から2014年9月30日)

CONTENTS

トップインタビュー ————— P01

～上期の実績と下期の取り組み～

連結財務データ ————— P04

グローバルネットワーク ————— P05

コーポレートデータ ————— P06

メイコーニュース / ホームページのご案内 — 裏表紙

40th
MEIKO REPORT

証券コード：6787

株式会社 メイコー



株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第40期(2015年3月期)第2四半期MEIKO REPORTをお届けするにあたり、当期の事業の状況と今後の経営戦略についてご説明いたします。

代表取締役社長

尾花 健一 郎

ニーズを的確に捉え、最高の電子回路基板を提供し続けます。

1 当期の事業環境と業績についてお聞かせください

A 好調な市場により売上げは拡大したが、利益面では厳しい状況に

当社グループをとりまく事業環境は、米国において緩やかな回復傾向が続きましたが、欧州やアジア各国では景気の成長が鈍化しており先行きの不透明感がでてまいりました。一方、国内経済においては政府による経済政策の効果もあり緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの主要な取引先である自動車業界では、自動車の需要が世界的に好調で市場は堅調に推移しました。またエレクトロニクス業界においては、特に中国を中心とするスマートフォン関連市場が依然堅調に推移しています。このような環境の中で当社グループでは、事業の選択と集中により経営資源を好調な車載関連、海外のスマートフォン関連を中心に投入し、受注の拡大と生産性向上に向けた人員構成や製品ミックス、生産設備の見直し、さらに固定費や経

2014年度上期 決算のポイント

決算概要	前年同期比で増収減益 ～売上高17%増、営業利益19.5億円減
プラス要因 (前年同期比)	販売は好調に推移 車載向け基板は堅調に推移 ～広州・武漢 スマートフォン向け基板の受注増 ～武漢・越南
マイナス要因 (前年同期比)	中国工場における人件費増 不採算品の増加による収益性の悪化

費の徹底削減等の対策を実施しました。

こうした組織の強化や営業力の強化に努めた結果、売上高については442億円と計画を上回るペースで順調に拡大してまいりましたが、営業利益については、海外の労務費の高騰、一部海外顧客からの受注の落込みや人員の急激な入れ替わりによる生産性の低下等の影響を払しょくしきれずに、当期では当初の計画を下回りました。

このように全体的には不本意な結果となって皆様のご期待にそえず申し訳なく思っていますが、その要因については明確に解っており、現在それらを一つ一つ検証しながら解決策を講じているところです。



通期の見通しについて お聞かせください



生産体制の課題を早期に克服し、 収益力の(高収益体質の)強化を図る

通期の見通しについては、売上高は好調な車載関係や中国を中心としたスマートフォン向けの受注を柱として堅調に推移すると予想しています。利益については、今回不本意な結果となった要因を一つ一つ検証しながら解決策を講じているところです。例えば、海外工場の労務費高騰対策や生産性の改善策として、適切な人員配置やアロケーションの見直しと古い生産設備の入れ替えによる自動化の推進、収益力向上のため高付加価値製品の受注拡大等、様々な対策を講じているところです。これらにより問題を早期

に解決して収益力を強化していくべく、全社をあげて取り組んでまいります。これらの対策は、すぐに大きな効果を出すことは難しいですが、今後徐々に成果が出てくると考えています。したがって、通期の見込みを3ページの表のとおり計画しました。



今後の経営戦略について お聞かせください



車載、スマートフォン向けを軸に グローバルで事業を拡大し 経営体質の強化を図る

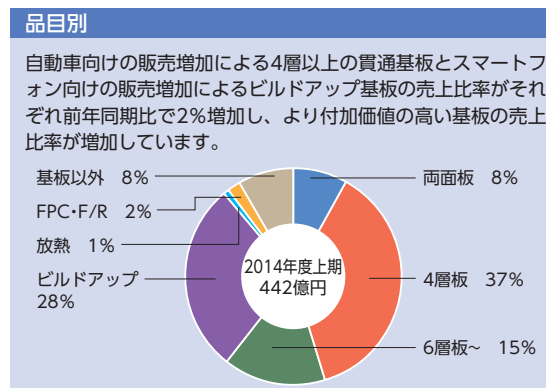
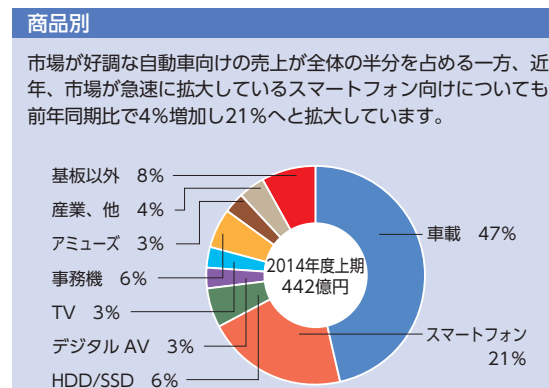
当社グループの経営戦略は、世界規模の視点で堅調に成長が期待できる市場を確実に捉えてグローバルに事業規模を拡大し、収益力を高め

2014年度上期 連結決算概況

(単位：億円)

	2014年度 上期 実績	2013年度 上期 実績	前年同期比
売上高	442.3	377.2	65.1
営業利益	▲12.6	6.9	▲19.5
経常利益	0.3	9.8	▲9.5
四半期純利益	▲4.9	2.4	▲7.3

電子回路基板別の売上構成



て安定的な成長を実現することを目指しています。現在期待できる成長市場は、自動車関連とスマートフォン関連ですが、当社グループはその戦略に基づき生産体制の課題を克服しつつ、海外工場を中心とした生産力の向上と新規顧客の積極的な開拓と受注力強化等の方策を実行していくことで事業機会を確実に捉え、収益の拡大を図ってまいります。

競合各社は、特に海外の会社が自社の技術力を高めつつ強いコスト競争力を背景に急速に事業を拡大してきています。これに対し当社グループは、新技術の開発や強固な生産体制の構築により品質に優れた製品を短納期で顧客企業に提供するなど、当社の優位性を十分に活かして対応し、事業の安定成長を図ってまいります。

また、新たな取り組みとして福島県双葉郡広野地区にある福島工場内の遊休地を利用した太陽光発電事業に参入しますが、このほど建設工事が始まりました。震災により大きくダメージを受けた地域の復興に弾みをつけるだけでなく、再生可能エネルギーの普及促進により地域社会への貢献を目指します。

 **株主の皆様へのメッセージをお願いします**

 **安定的な配当の維持と企業価値の向上に注力**

当社は、株主の皆様に対する利益向上を経営の重要課題の一つとし、利益配分は経営成績等を総合的に勘案し、安定的な配当の維持

に努めています。内部留保は、将来にわたる株主の皆様への利益を確保するため、経営基盤をより一層強化、充実するための投資に充当し、今後の事業展開に役立てることを基本方針としています。

当期の中間配当につきまして第2四半期連結累計期間の経営成績に鑑み、誠に遺憾ながら配当を見送らせていただくことになりました。

当社を取り巻く経営環境は変わらず厳しいものの、株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーのご支援、ご期待に応えるべく、改善のための各々の施策に全力で取り組み、業績の回復と企業価値の向上に努めてまいりますようお願いします。

2014年度 連結業績見込

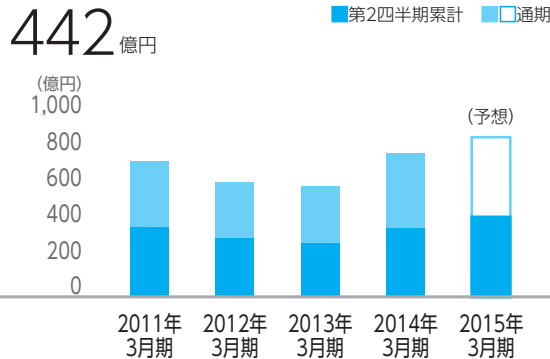
(単位：億円)

	2014年度			2013年度実績	前年比
	上期実績	下期見込	年間見込		
売上高	442.3	437.7	880.0	792.3	87.7
営業利益	▲12.6	18.6	6.0	9.2	▲3.2
経常利益	0.3	10.0	10.3	19.3	▲9.0
当期純利益	▲4.9	7.6	2.7	0.2	2.5

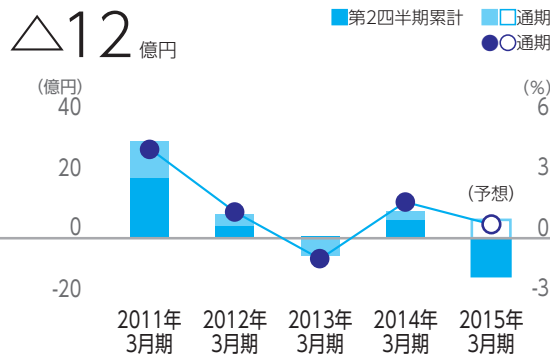
業績改善に向けた取り組み

1. 生産ラインの自動化による収益改善
2. 固定費、販管費の低減
3. 不採算品の削減
4. 品質改善
5. 材料コストダウン

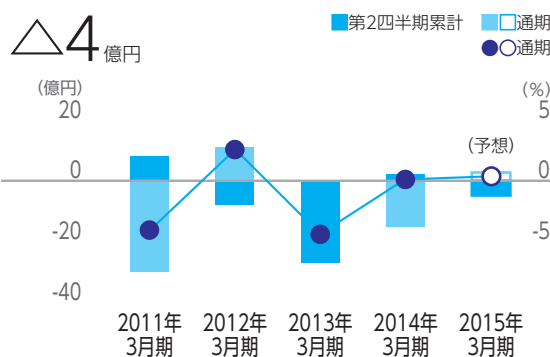
売上高



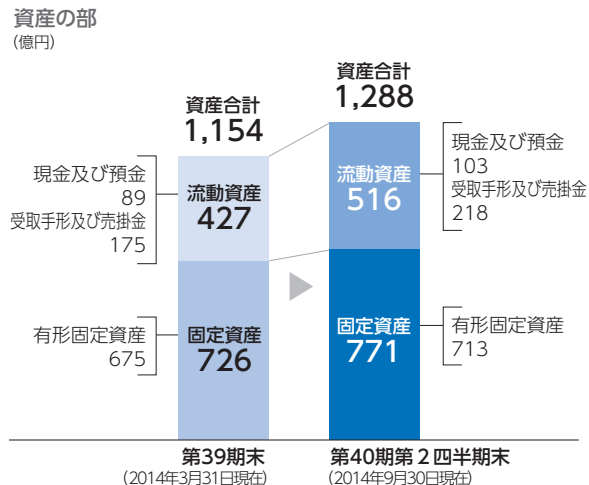
営業利益 / 営業利益率



当期純利益 / 当期純利益率

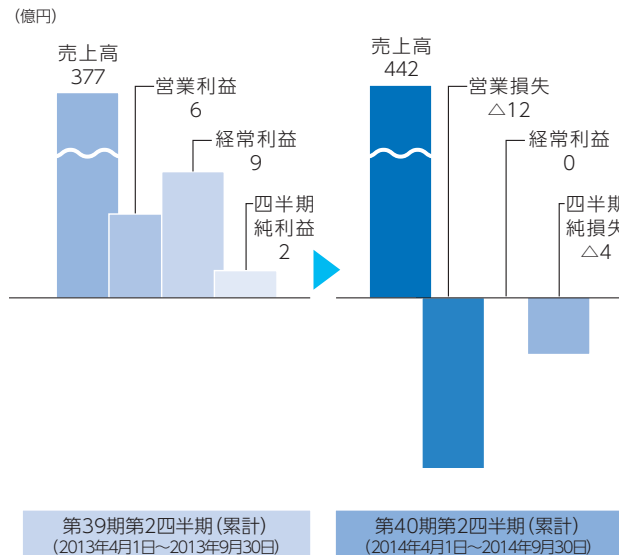


連結貸借対照表の概要

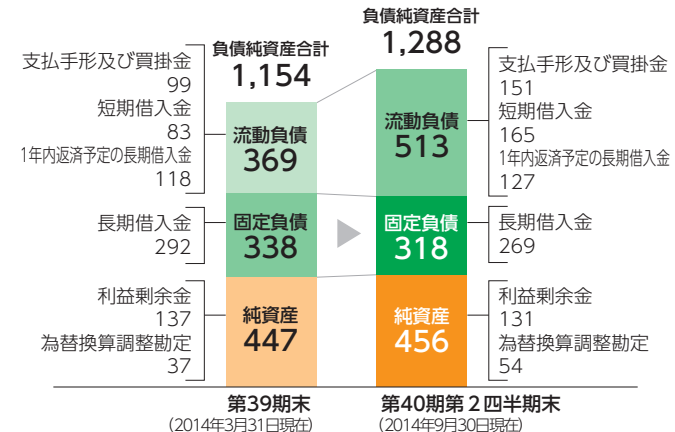


主な増減：流動資産においては、受取手形及び売掛金が約43億円増加、現金及び預金が約14億円増加、固定資産においては、有形固定資産が約37億円増加いたしました。

連結損益計算書の概要

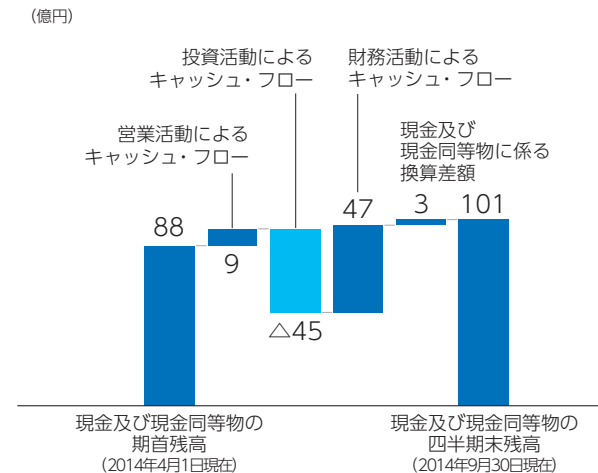


負債・純資産の部 (億円)



主な増減：流動負債は、支払手形及び買掛金が約53億円増加、短期借入金が約82億円増加、固定負債は、長期借入金が約22億円減少いたしました。

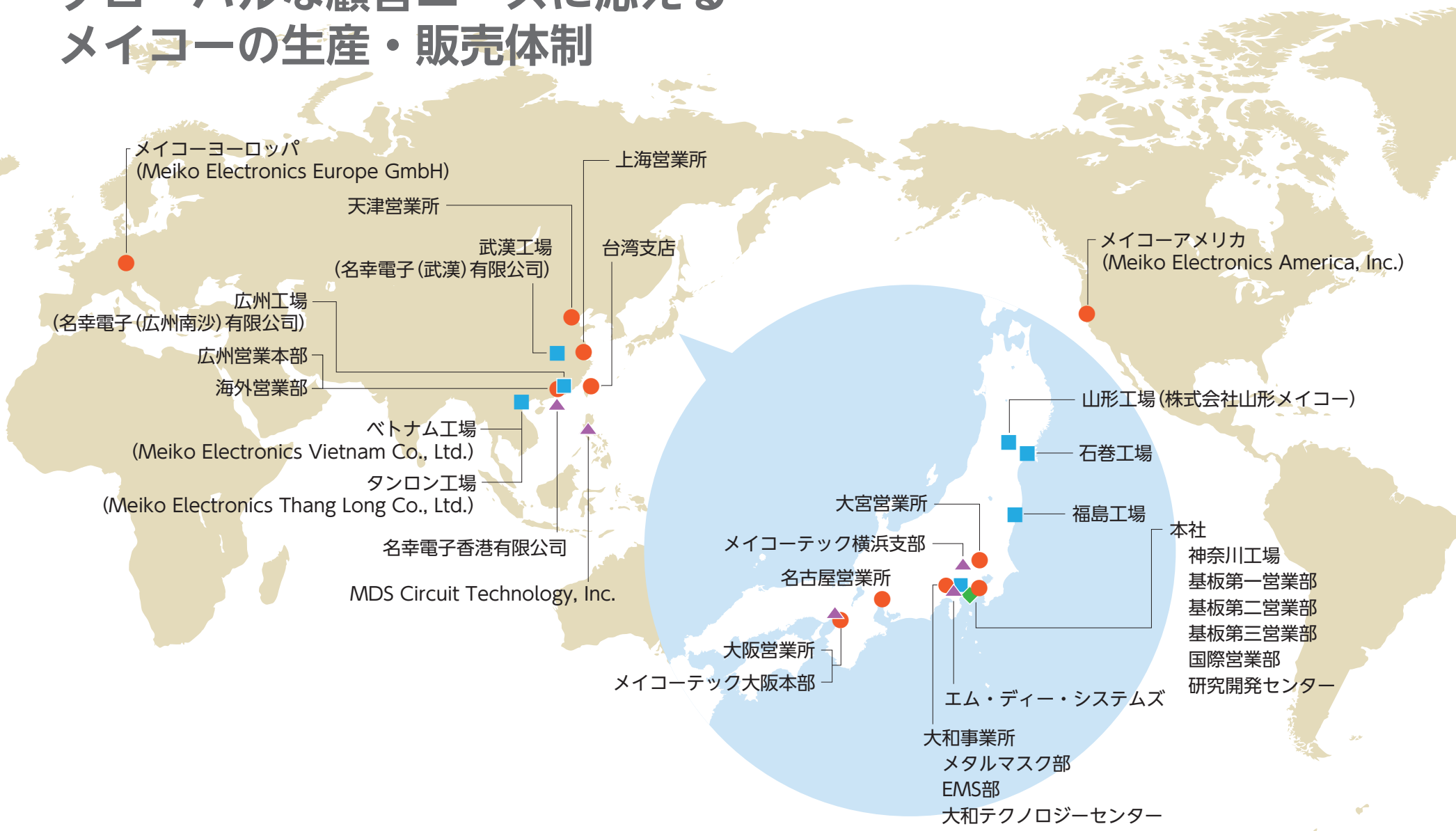
連結キャッシュ・フロー計算書の概要



主な増減：第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は前会計年度末に比べて約14億円増加し、約101億円になりました。

グローバルな顧客ニーズに応える メイコーの生産・販売体制

■ 生産拠点 ◆ 研究開発 ● 販売拠点 ▲ 関連会社



会社概要

商号	株式会社メイコー
設立	1975年11月25日
本店所在地	神奈川県綾瀬市大上5-14-15
資本金	12,888百万円
従業員数	11,763名(連結) (国内814名)(海外10,949名)
主な事業内容	電子回路基板等の設計、製造販売およびこれらの付随業務の電子関連事業

役員

代表取締役社長執行役員	名屋 佑一郎
取締役専務執行役員	名屋 精一
取締役専務執行役員	平山 隆英
取締役専務執行役員	篠崎 政邦
取締役	佐藤 国彦
取締役	Marc Schweizer
取締役	申 允浩
常勤監査役	伊豫本 齊
監査役	月井 啓之
監査役	越村 安信

関連会社

株式会社山形メイコー	電子回路基板の製造
株式会社エム・ディー・システムズ	電子回路基板の設計
株式会社メイコーテック	電子回路基板の販売
名幸電子(広州南沙)有限公司	電子回路基板の製造販売
名幸電子(武漢)有限公司	電子回路基板の製造販売
名幸電子香港有限公司	電子回路基板の販売
Meiko Electronics Vietnam Co., Ltd.	電子回路基板の製造販売
Meiko Electronics Thang Long Co., Ltd.	電子回路基板の製造
MDS Circuit Technology, Inc.	電子回路基板の設計
Meiko Electronics America, Inc.	電子回路基板の販売
Meiko Electronics Europe GmbH	電子回路基板の販売

株式情報

発行可能株式総数	63,200,000株
発行済株式の総数	26,174,076株 (自己株式 629,244株を除く)
株主数	7,135名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
名屋 佑一郎	4,698	18.0
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,054	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	789	3.0
PLEASANT VALLEY	631	2.4
名幸興産株式会社	608	2.3
有限会社ユーホー	521	2.0
名屋 晴行	488	1.9
名屋 精一	441	1.7
HILLCREST, L. P.	379	1.5
株式会社三井住友銀行	377	1.4

※当社は、自己株式 629,244株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL: http://www.meiko-elec.com/ir/pa.shtml
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、住所変更等のお手続きは、取引証券会社にご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

ホームページのご案内



TOPページ



CSR報告書



製品紹介(身近なメイコー)

当社ホームページでは最新のIR情報、ニュースリリースの他、製品紹介やCSR情報もご覧いただけます。

当社ホームページもご活用ください。

メイコー

検索

<http://www.meiko-elec.com/>



震災を乗り越えた石巻工場の今



現在の石巻工場

2011年3月11日に発生した東日本大震災から、早くも3年の月日が流れました。

当時、当社の旧宮城工場では工場の建屋そして人的にも大きな被害を受け、操業停止に追い込まれました。昨年、旧宮城工場から石巻工場として新たに生まれ変わり、稼働開始してからおよそ1年が経過しました。今回は当時を振り返りつつ石巻工場の今についてご紹介します。



震災当時の旧宮城工場

全てを飲み込んだ東日本大震災からの再出発

旧宮城工場は、2011年3月11日に発生した東日本大震災により、すべての工場棟の一階建屋が水没し倒壊、二階部分は津波の被害はないものの設備の倒壊や薬液漏洩が発生し、工場周辺には大量の瓦礫が押し寄せました。さらに残念なことに6名の従業員が亡くなり、7割以上の従業員が被災しました。このような状況から、建て直しは困難と判断され旧宮城工場は操業停止となりました。

翌年より徐々に工場再開に向けた準備が開始され、少人数での工場床清掃、不要設備の移設解体、奇跡的に被害を免れた設備・建屋の修復を実施し、ついに2013年5月に石巻工場として操業を開始しました。



震災当時



現在



震災当時



現在

ゼロから作る、新しい工場を目指して

工場再開当初は、設備条件出しや駆動チェック、標準作成などを中心とした活動が続きました。9月に正式顧客監査が実施され、晴れて合格し、ISO再取得などをおこなうまでに工場機能が整備されてきました。

これまでの旧宮城工場と異なる点として、石巻工場の特徴は高精細のハイスpek基板の小量産やモジュールや特殊仕様製品など他工場ではできない製品の量産をしています。

在籍従業員は少人数ですが、そのおかげか多能工化や工場の団結力アップが急激に進み、工場の自信と原動力に繋がっています。国内一の高機能基板工場に向けて、工場従業員一同で取り組んでいます。



株式会社 メイコー
本社 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上5-14-15
TEL : 0467 (76) 6001 (大代表)

ホームページ <http://www.meiko-elec.com/>

見直しに関する注意事項

本報告書に記載されている情報につきましては、当社の計画、業績など将来の見直しに関する記述が含まれており、これらの記述は、その時点で入手可能な情報および当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいています。実際の業績は、様々な要素により、これらと異なる結果となり得ることをご承知おきください。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。